

JATA 事務局長を訪問して

令和6年2月8日

JTRECJTREC 鈴木理事報告

JATA 事務局長とこの度面談の機会を持った。ここでは JTREC が国連 CEFACT で活動している中で主として持続可能な観光の推進に関して資料を使い説明を行うと共に、今後の JATA との協力関係に関して意見交換を行った。その結果を下記のように報告をする。

1. 訪問日時 令和6年2月7日 10時30分から約1時間
2. 訪問先 一社 日本旅行業協会 池畑理事・事務局長
3. 訪問者 JTREC 中込専務理事、鈴木理事
4. 提出資料 「JTREC の国連 CEFACT 活動と持続可能な観光の推進」(鈴木作成)
5. 意見交換した主な内容

1) JATA での SDGs の取り組み状況

①大手旅行会社はそれなりに取り組んでいるが、大部分を占める中小旅行会社では何をすれば良いかが分からず上手く推進できていない。JATA としても苦慮しているところである。

②SDGs の取り組みができていないとインバウンドの顧客が取りにくい状況が出てくる危険があることを認識している。

③JATA としては SDGs の推進のために SDGs アワードを昨年実施したが、参加者が少なく動きとしては不十分である。

2) 池畑事務局長からの提案

今回の話は JATA の中に SDGs の推進を検討する社会貢献グループができているのでここで紹介をしてもらいたい。

②また、JTB 総研の熊田研究員を紹介するので話をしてみたい。

この人は UNWTO 駐日事務所に出向していたのと、新たに設立された持続可能な観光の推進機関(田川元 JTB 会長、UNWTO 駐日事務所代表本保氏)での推進役をしている。

③JTREC (法人会員) と JATA (賛助会員) の組織にお互いが加入することで今後の活動を連携して推進することが良いのではないか。

3) 意見交換を終えての感想から

①本日の意見交換では国連 CEFACT での活動内容を説明したことで、状況を理解していただくことがおおむねできたと考えられる。

②そして協力関係を持っていくことに前向きに取り組んでいこうと考えられたと理解をした。

以上